

エプソングローバル社員行動規範

企業行動原則と私たちの行動



経営理念

お客様を大切に、地球を友に、
個性を尊重し、総合力を発揮して
世界の人々に信頼され、社会とともに発展する
開かれた、なくてはならない会社でありたい。
そして社員が自信を持ち、
常に創造し挑戦していることを誇りとしたい。

EXCEED YOUR VISION

私たちエプソン社員は、
常に自らの常識やビジョンを超えて挑戦し、
お客様に驚きや感動をもたらす
成果を生み出します。

「エプソングローバル社員行動規範」について

この度、「経営理念」に基づく価値観や行動すべきことを記載した「企業行動原則」と、その読み解きである「エプソングローバル社員行動規範」を改定しました。

私たちは“「省・小・精」から生み出す価値で人と地球を豊かに彩る”という「パーパス」の実践に向け、創業より大切にしてきた「誠実努力」・「創造と挑戦」の精神に基づき、お客様や社会の期待に誠実に向き合い、強みを伸ばし、弱みを克服するための努力を怠らず、新しい価値の創造に挑戦し続けていきます。

私たちがこれからさらに前進していくためには「自由闊達で風通しの良いコミュニケーション環境」、つまり、共通の目標に向かって様々な課題・問題を解決するために、オープンな意思疎通を通じ、創造性に富んだアイデアをお互いが生み出し、真摯に実行していくことが大切です。日々の仕事を通じて社員の皆さんがやりがいを持って働くことができ、多くの知恵が結集できる、活力のある会社にしていきたいと考えています。

これから会社の最終責任者として新しいリーダーシップチームとともに、全社員が心一つにして共通の目標に向かっていけるようモチベーションを高める環境づくりをしていきます。

そのためには、私たちが、「経営理念」に基づく価値観、行動すべきことを詳細に記載した「エプソングローバル社員行動規範」を正しく理解し、行動することが必要となります。

是非、この「エプソングローバル社員行動規範」の内容を理解し、これに基づく行動を実践していきましょう。

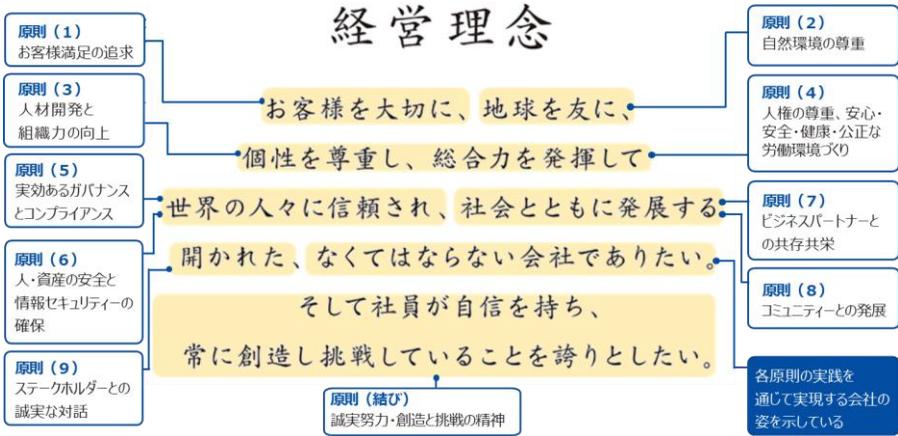
2025年4月1日

セイコーエプソン株式会社
代表取締役社長 CEO

吉田潤吉

経営理念と企業行動原則

経営理念の一つ一つの要素と企業行動原則は結びついています。



各原則はそれぞれ役員・社員が共有するべき価値観、考え方および行動すべき内容を示しています。

これらの原則にのっとり自主的な行動、継続的な改善により、社会的責任を果たしていきましょう。

企業行動原則とエプソングローバル社員行動規範

企業行動原則

1. お客様満足の追求

原則

私たちは、常にお客様に寄り添い、世界中のお客様に商品とサービスを通じた、安全・安心、喜び、豊かさをお届けし、エプソンファンを増やし続けます。

実施事項

- 1.1 ユニバーサルデザインに配慮し、さまざまなお客様にとって使いやすく、確かな品質の商品とサービスを実現する。
- 1.2 失敗から学ぶ社風の醸成と業務プロセスの構築により、問題の再発防止と未然防止を図り、価値創造につなげる。
- 1.3 お客様視点の研究開発とものづくり力の強化により、革新的で社会的に有用かつお客様価値の高い商品やサービスを提供し続ける。
- 1.4 常にお客様に寄り添い、誠実、丁寧、的確に素早く対応し、お客様の困りごとの解消に最善を尽くす。
- 1.5 法令遵守と製品安全最優先の認識のもと、全ての業務の品質を向上させ、お客様からの強い信頼を得る。

原則

各分野において役員・社員が共有するべき価値観、考え方および行動すべき内容を表す

実施事項

原則を実践する具体的な行動

実施事項を読み解いたものが

「エプソングローバル社員行動規範」です。

エプソングローバル社員行動規範

目次

1. お客様満足の追求	6
2. 自然環境の尊重	9
3. 人材開発と組織力の向上	12
4. 人権の尊重、安心・安全・健康・公正な労働環境づくり	17
5. 実効あるガバナンスとコンプライアンス	22
6. 人・資産の安全と情報セキュリティの確保	27
7. ビジネスパートナーとの共存共栄	30
8. コミュニティーとの発展	32
9. ステークホルダーとの誠実な対話	34
結び 誠実努力・創造と挑戦の精神	37

表記構成説明 各ページ下記のような構成になっています。

企業行動原則 実施事項

1.1 | ユニバーサルデザインに配慮し、さまざまなお客様にとって使いやすく、確かな品質の商品とサービスを実現する。

私たちの認識

私たちは、年齢、性別、国籍、障がいの有無などに関わらず、さまざまなお客様に使っていただけるように、ユニバーサルデザインに配慮した商品やサービスを提供していくことが重要だと認識しています。

私たちが やるべきこと

私たちは、「商品開発の段階からユニバーサルデザインにこだわり、どなたにでも使いやすいように最大限の配慮をして設計する」ことで、確かな品質の商品とサービスを、より多くのお客様に使っていただくことができると信じて取り組みます。

1. お客様満足の追求

私たちは、常にお客様に寄り添い、世界中のお客様に商品とサービスを通じた、安全・安心、喜び、豊かさをお届けし、エプソンファンを増やし続けます。

KEYWORD

「お客様の視点」

お客様は国や地域、年齢、性別、さまざまでありハンディキャップをお持ちの方もいます。よって、その要望もさまざまですし、社会の変化に伴って内容も変わり続けます。

1.1 ユニバーサルデザインに配慮し、さまざまなお客様にとって使いやすく、確かな品質の商品とサービスを実現する。

私たちは、年齢、性別、国籍、障がいの有無などに関わらず、さまざまなお客様に使っていただけるように、ユニバーサルデザインに配慮した商品やサービスを提供していくことが重要だと認識しています。

私たちは、「商品開発の段階からユニバーサルデザインにこだわり、どなたにでも使いやすいように最大限の配慮をして設計する」ことで、確かな品質の商品とサービスを、より多くのお客様に使っていただくことができると信じて取り組みます。

1.2 失敗から学ぶ社風の醸成と業務プロセスの構築により、問題の再発防止と未然防止を図り、価値創造につなげる。

私たちは、お客様が商品やサービスを購入される段階から、廃棄されるまでのライフサイクルにおいて、問題点(お客様の期待とのギャップ)を早期に見つけ解決することは、価値創造そのものと認識しています。

私たちは、商品の品質に加え、購入・使用・修理・廃棄までのライフサイクル全てにおいて、常にお客様視点と社内外の失敗の教訓から想定される問題・リスクの抽出を徹底して行い、素早い解決により、確かな品質の商品・サービスを提供します。

1.3 お客様視点の研究開発とものづくり力の強化により、革新的で社会的に有用かつお客様価値の高い商品やサービスを提供し続ける。

私たちは、お客様の期待を超える商品やサービスを提供することが、結果として、研究開発やものづくり力の強化のための原資となることを認識しています。

私たちは、お客様視点に立ち「人やモノと情報がつながる新しい時代」の創造に向けて、それぞれの事業で「省・小・精の価値」をお客様に提供します。

1.4 常にお客様に寄り添い、誠実、丁寧、的確に素早く対応し、お客様の困りごとの解消に最善を尽くす。

私たちは、経営理念にうたう「お客様を大切に」「社会とともに発展する」に基づき、常にお客様視点に立った行動を目指しています。

私たちは、社会の変化やお客様の期待・意見を正しく受けとめながら、自らの業務の質を高め、お客様が安心して購入し、心から愛用できる商品・サービスを提供します。

1.5 法令遵守と製品安全最優先の認識のもと、全ての業務の品質を向上させ、お客様からの強い信頼を得る。

私たちは、エプソンがお客様に信頼される企業であり続けるために、安全・安心な商品やサービスの提供は最も基本的な責務と認識しています。

私たちは、お客様の安全・安心を最優先に考え、世界各国・地域の製品安全および環境に関わる法令などを遵守します。また、万が一製品事故などが発生した場合は、速やかに危害の発生・拡大防止の措置を講じます。

2. 自然環境の尊重

私たちは、企業活動と地球環境との調和を目指し、高い目標の環境保全に積極的に取り組みます。

KEYWORD

「企業活動と地球環境」

企業活動は自然環境からの恩恵を受け、成り立っています。しかしその一方で、企業活動が地球環境に負荷を与えているということも事実です。

2.1 自然環境の持続可能性を最優先課題の一つと捉え、次の世代を考え企業活動を行う。

私たちは、経営理念で掲げる「地球を友に」のもと、深刻化、多様化する環境問題への対応を社会の最優先課題の一つとして認識しています。

私たちは、持続可能な社会を実現するため、環境問題に真摯（しんし）に向き合います。環境への影響の特定、予防および緩和についての適切な対策を講じ、次世代を考えた企業活動を行います。

2.2 商品やサービスの製造から輸送・使用・廃棄にわたるライフサイクル全体において、自社および社会全体の環境負荷低減を追求する。

私たちは、商品・サービスのライフサイクルの各段階で、環境負荷が発生していることを認識しています。

私たちは、企業活動に関わる全ての場面において、社員一人ひとりがそれぞれの立場で環境負荷を考慮し行動します。

2.3 社会の一員として、自然環境の保全・修復活動に参加・貢献する。

私たちは、社会に信頼される企業であるために、社員一人ひとりが自然環境を意識することが大切であると考えています。

私たちは、世界各国・地域に合った自然環境保全・修復活動へ積極的に参加し続けます。

2.4 環境問題に関して、一人ひとりの社員に必要な啓発活動や教育を行う。

私たちは、環境活動をひと事と捉えず、企業活動や自己の生活が自然環境から恩恵を受け、成り立っていると認識しています。

私たちは、環境を意識して行動し、啓発活動や環境教育に積極的に参加します。

3. 人材開発と組織力の向上

私たちは、多様な人々の価値を最大限活かし、個人と組織の間の相乗効果により、組織力を高め、チームワークでやり遂げます。

KEYWORD

「個人と組織の間の相乗効果」

チームで活動することで、お客様により大きな価値をお届けすることができます。そのためにも、お互いの信頼関係を大切にしながら、会社の方向性と個人の考えとのベクトル合わせが必要です。

3.1 経営理念を浸透させ、実践する。

私たちにとって経営理念は「ありたい姿」を指し示すものです。

私たちは、「なくてはならない会社」の実現に向かっていくという、経営理念の意味を一人ひとりが深く理解し、実践します。その上で、自ら成長し、自由闊達（かつたつ）に議論しあい、チームとしての総合力を最大化します。

3.2 多様な人材の採用と適切な配置により、最適フォーメーションをつくり続ける。

私たちは、人材が経営理念を実現するための重要な財産であり、また、社員一人ひとりがお互いに尊重しあうことが、組織力を最大化するために必要であると認識しています。

私たちは、自身が属する組織の役割を理解、実践し、他の組織に対しても協力を惜しまず、全体最適の視点で、必要な働きかけを行います。

3.3 個性を大切にし、会社と社員の信頼関係を構築する。

私たちは、エプソンが目指す方向に合わせ、上司や部下・チームメンバーとのコミュニケーションを行うことが重要だと考えています。

私たちは、多様性を認め、お互いの個性を尊重し、率直な意見交換や建設的な議論をします。また、それを通じて、目標の達成のために主体的に行動します。

3.4 一人ひとりが能力を最大限発揮できるよう制度を整え、人材の育成を行う。

私たちは、経営理念で掲げる「創造と挑戦」を実践するために、社員一人ひとりが常に学び、能力を高めるための取り組みを継続して行うことが必要であると認識しています。

私たちは、自己実現の夢を持ちながら、エプソンというチームの一員として、自己を高め、困難に挑戦し、成長し続けます。

3.5 活動の目的、目標、目標達成の証を示し、それを共有し、会社と個人の活動の方向性を合わせる。

私たちは、経営理念の意味を納得し、共有し、会社の方向性と自分の考え方のベクトルを合わせ、そして互いの個性を尊重し、建設的に意見しあうことが大切であると認識しています。

私たちは、関係するメンバーに対し、経営理念、会社の「パーパス」、活動の目的、目標、目標達成の証（あかし）を明快かつ粘り強く伝え、関係するメンバーの納得につなげ、共有を共感に変えていきます。

3.6 一人ひとりが活動の目的と自分の役割を理解し、チームとして行動する。

私たちは、創って、作って、そして価値をお届けし続けるプロセス全体を理解し、その中で自分の役割を把握し、お客様のために何ができるかの視点から、チームの一員として貢献することが重要であることを認識しています。

私たちは、社会に貢献するために、個別最適ではなく全体最適で考え、チームとして総合力を高めながら貢献していくために、自分の発言や行動が周囲にどのような影響をあたえるのかを常に意識し、強い責任感と高い倫理観を持って行動します。

3.7 目標達成に向けて、周囲を巻き込み、お互いの信頼関係を大切にしながら、納得するまで話し合い、考え抜く文化を大切にする。

私たちは、お客様価値を創造し、お届けし続けるためには、個人や組織の壁を取り払い、互いに尊重し信頼する環境を構築し、議論を尽くし、総合力を発揮することが不可欠であることを認識しています。

私たちは、自責で考え、常に当事者意識を持って行動し、関係するメンバーの参画意識を高めます。また、他部門や他者を積極的に巻き込み、また他部門や他者への協力を惜しまず、信頼関係のもと建設的な議論を行います。

3.8 自律した社員が自信と誇りをもって働き、総合力を発揮できる組織風土をつくる。

私たちは、組織風土とは誰かから与えられるものではなく、エプソンで働く全員で作り上げていくものと考えています。

私たちは、自身の成果のみにこだわらず、おのおのの長所を伸ばし、自律した社員の集合体としての組織力を最大化できるように、自由闊達（かったつ）に議論が行える組織風土を作っていきます。

4. 人権の尊重、安心・安全・健康・公正な労働環境づくり

私たちは、企業活動に関わるすべての人の人権を尊重します。また、明るく安心・安全・健康・公正で、やりがいを持ちいきいきと働ける労働環境をつくれます。

KEYWORD

「ビジネスと人権」

企業は、企業活動に関連して、すべての地域のすべてのステークホルダーの人権を尊重し、人権に負の影響を与えない方法で事業を行うことを国際社会から期待されています。

4.1 バリューチェーン上のすべての人の人権尊重を徹底し、人権侵害を起こさない。また助長や加担をしない。

私たちは、企業活動が、自社の社員のみならず、業務委託先、サプライヤーや取引先の従業員、地域社会の皆様、お客様などの人権に対し、悪影響を与える可能性を認識しています。

私たちは、企業活動に関連した人権侵害のリスクを把握し、その防止・軽減のための適切な対応をとることで、人権侵害が発生しないよう努めます。

4.2 児童労働や強制労働は絶対に行わない。

私たちは、教育の機会を与えられずに働く児童や、劣悪な労働環境・労働条件で強制的に働かされる労働者は、世界において最も深刻な人権侵害の一つであることを認識しています。

私たちは、自らが児童労働、強制労働を引き起こすことはもちろん、サプライヤー、投資先などのビジネスパートナーの児童労働、強制労働による人権侵害を助長したり、加担することがないように、注意して行動します。万一児童労働が判明した場合には、対象児童に支援／救済措置を提供します。

4.3 あらゆるハラスメント、暴力など、人格を無視し、信頼を損なう行動は許さない。

私たちは、ハラスメントやいじめ、暴力などで人格を傷つけられたり、仕事への意欲や自信を喪失したり、生きる希望を失うようなことは断じてあってはならないと考えています。

私たちは、ハラスメントやいじめ、暴力などを排除し、そして、一人ひとりの尊厳や人権が尊重され、組織の活力や仕事に対する意欲が向上することを目指します。また、弱い立場の人たちを決して放置しません。

4.4 国籍、宗教、人種、年齢、障がい、性別、性的指向、性自認などによる差別を徹底的に排除する。

私たちは、国籍、宗教、人種、年齢、障がい、性別、性的指向、性自認など、それぞれ個性のある多様な仲間がいることを認識しています。

私たちは、国籍、宗教、人種、年齢、障がい、性別、性的指向、性自認などによる不当な差別を行わず、また差別に基づく不当な扱いをしません。

4.5 社員がやりがいを持ち、さまざまなライフステージの変化に適応しながら、いきいきと働ける環境を実現する。

私たちは、価値観や生き方が多様化する中で、さまざまなライフステージにおいてキャリアを歩み続けられることが、会社の成長および社員の幸せのために重要だと考えています。

私たちは、柔軟な働きかたが選択できる環境の中で、自律的なキャリア形成に取り組みます。

4.6 一人ひとりが安心して働ける職場の安全衛生環境を確保し、維持向上させる。

私たちは、全ての社員が安心・安全・健康でいきいきと働ける職場環境を目指し、「労働安全・予防防災」の基本的ルールを遵守します。「自分たちの職場は自分たちで守る」「自分の安全は自分で守る」という意志を持ち続けます。

私たちは、効率性やコストのみを優先することなく、社員が一体となって、労働災害・事故・業務上疾病の発生“ゼロ”に取り組みます。

4.7 こころとからだの健康保持・増進のため、自律的健康管理を支援する。

私たちは、一人ひとりの「こころとからだの健康」と、「いきいきと楽しく働くことができる職場環境」が重要であることを認識しています。

私たちは、自分と仲間のこころとからだの健康に留意し、健康保持・増進するための取り組みを行うとともに、いきいきと楽しく働くことができる職場環境づくりに向け行動します。

4.8 一人ひとりが公平な環境で互いの個性を尊重しあい、多様な人材が楽しく働きながら、挑戦し続けられる企業文化をつくる。

私たちは、個性豊かで多様な人材が集まって自由闊達な議論を重ねられる環境であることが、組織力強化や企業価値向上のために重要だと認識しています。

私たちは、一人ひとりが異なることを理解し、受け入れ、公平な環境の中で、能力を最大限発揮できる風土醸成を目指します。

5. 実効あるガバナンスとコンプライアンス

私たちは、実効ある企業統治と内部統制の下で、法規制などのルールを守り、高い倫理観をもって、全ての活動にあたります。

KEYWORD

「企業統治と内部統制」

ルールを守る仕組みの構築は重要ですが、その仕組みが適正に機能するために、私たちの高い倫理観に基づく行動が求められます。

5.1 実効ある企業統治と内部統制の仕組みを整え、透明・公正かつ迅速・果断な経営を実践する。

私たちは、企業統治や内部統制を適正に機能させるためには、その目的や仕組みを正しく理解し行動することが重要だと考えています。

私たちは、「約束を守る・うそをつかない・隠さない」を行動の指針とし徹底します。また、事態を自分たちに都合よく解釈したり、不祥事的事实を隠ぺい・改ざんしたりすることはせず、正確かつ十分に把握・発信します。

5.2 世界各国・地域の法令、社内規程、企業倫理を守るための体制を確立し遵守するとともに、社会からの要請に応える。

私たちは、多様な製品をグローバルに製造・販売しており、世界各地に製造拠点、販売拠点を有していることから、社員一人ひとりが世界各国・地域の法令、社内規程を確実に遵守するとともに、社会からの要請に応じていくという意識を持って、行動をするべきと考えています。

私たちは、グループ内を網羅するグローバルコンプライアンス体制のもとで、各国・地域の法令を社内規程に反映し、企業倫理とともに遵守します。

5.3 法令・社内規程・企業倫理に違反する疑いを匿名でも通報できる窓口を設けるとともに、正当な目的で報告した通報者に対して不利益な取り扱いを行わない。

私たちは、コンプライアンス（法令・社内規程・企業倫理の遵守）のために、社員一人ひとりが気づいたことを躊躇（ちゅうちょ）することなく報告できることが重要だと考えています。このために、匿名でも報告でき、正当な報告を行った者が不利益な取り扱いを受けない仕組みが必要です。

私たちは、コンプライアンス違反またはその疑いに気づいたときは、その事実を上司または社内通報窓口に速やかに報告します。そして、正当な報告を行った者に対して、嫌がらせや不利益な取り扱いを行いません。

5.4 贈収賄、カルテル、インサイダー、利益相反などの不正取引を排除し、公正透明・自由な競争ならびに適正な取引を実践する。

私たちは、「公正・透明・自由な競争ならびに適正な取引」の実践を通じて、エプソンの社会的責任を意識・理解し、健全かつ適正な業務を行うべきと考えています。

私たちは、贈収賄、カルテルなど不適切な方法で利益を求めること、またインサイダー取引、利益相反取引など不公正・不透明な行為はせず、違反リスクにつながるような行為がある場合は、直ちに関係部門に報告します。

5.5 政治、行政との健全かつ正常な関係を保つ。会社として政治家や政党に対する政治献金等の寄付・政治家が主催する研修会やパーティー券等への支出は行わない。

私たちは、企業が政治、行政との健全な関係を維持することは、企業とともに社会の健全な発展にとって不可欠であり、そのため、政党や官公庁とは、透明な関係を保つ必要があると考えています。

私たちは、世界各国・地域での風土、慣習、文化を尊重しつつも、政治、行政や公務員から、格別の便宜を得るなどの不適切な関係は排除します。そして、倫理を重視し、社会から誤解を受けないように行動します。

5.6 市民社会の秩序・安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは一切関わらない、加担しない。

私たちは、反社会的勢力および団体を排除していくことは社会の重要な課題と考えています。

私たちは、反社会的勢力および団体と関係を持ちません。万が一、反社会的勢力や団体とは知らずに何らかの関係の有してしまった場合は、直ちに関係部門に連絡します。

5.7 商品に使用される鉱物の調査体制を整え、人権侵害・紛争・環境破壊などとの関わりを持つ鉱物の使用回避に向けた責任ある鉱物調達に取り組む。

私たちは、人権侵害・紛争・環境破壊などに関与する鉱物の排除が、世界的に重要な課題であると認識しています。

私たちは、商品に使用される鉱物の調査体制を整え、サプライヤーの協力を得て調査を行います。そして、商品に人権侵害・紛争・環境破壊などに関わりのあるサプライチェーンの鉱物を使用しないよう、取り組みます。

5.8 リスクマネジメントの実践により、リスクの顕在化を未然に防ぐとともに、万が一顕在化した場合の影響を極小化する。

私たちは、業務に関するリスクを常に意識し、感度を磨き、リスクの顕在化の防止および発生時の極小化が必要と考えています。

私たちは、自職場で発生しうるリスクの未然防止に努め、万が一リスクが顕在化した場合には、グループ経営に影響を与えることがないよう、組織の枠を超えて迅速・適切に対処します。

6. 人・資産の安全と情報セキュリティの確保

私たちは、人と企業資産の安全を守り、全ての情報管理において厳重な注意を払って行動します。

KEYWORD

「人・資産の安全」

事業は、多くの人や資産とかがかわることで成り立っています。

これらの資産は、物理的および情報セキュリティによる安全が確保されていることが必要です。

6.1 全ての社員および来社されている外部の人々の安全が確保できる体制を整える。

私たちは、全ての社員および社外から来社している人々の安全を確保するためには、リスクを事前に予見し、準備し、行動することが重要と考えています。

私たちは、ヒヤリハットなどの安全を脅かす行動や状況を放置せず、安全を高める活動に積極的に取り組みます。

6.2 全ての資産（財務資産、有形資産、知的資産、ブランド資産、情報資産など）を適切に管理するとともに、他者が有する資産を尊重する。

私たちは、資産管理の不備は、資産の毀損（きそん）・紛失、盗難・不正使用などを誘発し、それにより社会からの信頼を失うと認識しています。

私たちは、全ての資産管理ルールを常に意識し、それに基づき日頃から資産の状態を把握し、適切な資産管理を実施します。有形資産については、現物確認を基本として管理します。また、他者が保有する知的資産、ブランド資産、情報資産などを尊重します。

6.3 個人のプライバシーに関わる情報をはじめとする機密情報を厳重に管理し、いかなる情報漏えいも防止する。

私たちは、お客様がエプソンを信用して預けていただいた機密情報（個人情報を含む）を公正に取り扱い、かつ公正に取り扱っていることをいつでも説明できるようにしていかなければならないと認識して行動しています。

私たちは、機密情報が、そのライフサイクル全体（生成・入手・利用・保存・廃棄）において不注意・故意・悪意によって漏えいすることのないように、取り扱いルールを理解・遵守します。

6.4 全ての資産は、正当な業務目的のみに使用し、不正流用をしない、させない。

私たちは、資産の管理は「いつか」「誰か」がすることではなく、「ある時期」「特定の人」がすることでもなく、「いつも」「全社員」が実践すべきことだと認識して行動しています。

私たちは、資産の紛失・盗難・業務目的以外などでの不正使用の防止に努めます。

7. ビジネスパートナーとの共存共栄

私たちは、サプライヤー、販売チャンネル、協業先など全てのビジネスパートナーに、高い水準の倫理行動を求め、責任あるバリューチェーンの構築に取り組みます。

KEYWORD

「高い水準の倫理行動を求める」

ビジネスパートナーに対しても、人権、労働環境、環境、遵法、倫理、品質、情報セキュリティに関して、エプソンと同じ基本姿勢を求めているかなければなりません。

7.1 ビジネスパートナーの自主自立を尊重し、共存共栄を図る。

私たちは、バリューチェーンに携わる全てのビジネスパートナーと協力して、お客様の期待に応えていくことが必要と考えています。

私たちは、エプソンの一員という自覚と責任のもと、ビジネスパートナーに対し誠実に接するとともに、持続可能な社会の実現に貢献します。

7.2 ビジネスパートナーに対して、人権、労働環境、環境、遵法、倫理、情報セキュリティおよび品質に関して、エプソンと同じ基本姿勢を求め、必要に応じて取り組みの改善をサポートする。

私たちは、人権、労働環境、環境、遵法、倫理、品質、情報セキュリティも、商品・サービスの選択要件であると認識しています。

私たちは、ビジネスにおいては、品質、価格、納期のみならず、これらについて総合的に評価し、必要に応じて協働で解決に取り組めます。

7.3 ビジネスパートナーとの関係において法令や社会倫理に反した取引慣行を排除するとともに、ビジネスパートナーに対しても同様の姿勢に基づく対応を強く求める。

私たちは、法令だけでなく、業界規範や適正な商習慣など社会的に公正と認められるルールを尊重し、ビジネスパートナーに対しても、その遵守を求め、適切な関係を求めます。

また、私たちは、接待等に依存しないビジネススタイルを基本にしています。このことを、ビジネスパートナーにも求めています。

8. コミュニティーとの発展

私たちは、活動する全ての地域社会および世界の国々に対して、積極的に貢献し、ともに発展できる関係をつくります。

KEYWORD

「積極的に貢献」

高い社会性が企業に求められるようになっていくことを自覚しながら、積極的な社会貢献活動と情報発信を進めていくことが必要です。

8.1 企業活動を行うコミュニティー(世界各国と地域)において、それぞれの文化や習慣を尊重する。

私たちは、コミュニティーの文化・慣習などを尊重しながら、社会発展にも寄与する形で事業を行うことが重要と認識しています。

私たちは、お客様視点で考え、コミュニティーの文化や慣習を学び、理解を深めます。そして、それぞれの地域に合った、企業活動に努めます。

8.2 コミュニティーとの開かれた対話を続け、積極的に社会貢献活動を実施する。

私たちは、良き企業市民として社会とともに発展していけるよう、積極的社会貢献活動を進めていかなければならないと考えています。

私たちは、行政はもとより、NPO・NGO や地域との社会貢献活動を通じ、コミュニケーションに一層力を入れて、広い視野での活動を行います。エプソンの技術やノウハウを社会に還元することにも積極的に取り組みます。

8.3 社員が社会の一員として自主的、積極的にボランティア活動などに参加する風土を醸成する。

私たちは、「社会を構成する市民として、社会に役立つ行動をしよう」という志を持つべきと考えています。

私たちは、社員一人ひとりが社会貢献のあり方を考え、自主的、積極的にボランティア活動などに参加します。

9. ステークホルダーとの誠実な対話

私たちは、正直かつ積極的にステークホルダーに情報を伝えるだけでなく、ステークホルダーの意見に謙虚に耳を傾けます。

KEYWORD

「誠実な対話」

社会的な存在として責任を負っている全ての人々に対して、負の情報も含めた必要な情報を積極的に公開し、双方向のコミュニケーションを継続していくことが必要です。

9.1 世界各地の文化や習慣を尊重し、良識あるモラルの高いコミュニケーションに努める。

私たちは、社内外で行う、さまざまな人々とのコミュニケーション活動が、エプソンの信用・企業価値・ブランドなどへ影響を与える重要な要素であることを認識しています。

私たちは、エプソンの一員として、公序良俗に反する言動や差別的言動を行わず、文化の多様性に配慮しながら、一貫性のあるコミュニケーション活動を行います。

9.2 負の情報も含めた情報公開を積極的に行い、常に正直・正確な情報伝達を行う。

私たちは、開かれた会社の一員として、適時・適切にステークホルダーに対して会社の真の姿を伝えることが求められていると認識しています。

私たちは、ステークホルダーに対して、負（マイナス）の情報の改ざん・隠ぺい、情報発信の遅滞をせず、会社のありのままの姿を正確かつ公平に伝えます。

9.3 適切な手段を使い、ステークホルダーにとって役立つコミュニケーションを実現する。

私たちは、各種メディアの伝達手段の特性を十分に理解した上で、良識ある社会人としての自覚と倫理を保ちながらコミュニケーションを行っていくべきと考えています。

私たちは、会社の非公開情報の漏えいや他社のブランドを毀損（きそん）するような不適切な情報発信は行わず、ステークホルダーが正しく理解できるように、内容を慎重に確認し、適切な情報開示の方法を用いて、発信します。

9.4 ステークホルダーとの対話の場や機会を設ける。

私たちは、業務上だけでなく、社会全般に対する発言・行為全てが、エプソンのコミュニケーション活動として見られていることを認識しています。

私たちは、社員一人ひとりが広報パーソンという意識で、エプソンへの理解と信頼が得られ、企業価値向上に寄与できるように建設的な対話を行います。

9.5 ステークホルダーの意見を経営における重要な情報源として活用する。

私たちは、ステークホルダーとのコミュニケーションが、エプソンの持続的な成長と中長期的な企業価値向上には不可欠であると認識しています。

私たちは、ステークホルダーとの対話から得た意見・評価などを、批判や懸念なども含め謙虚に受けとめ、速やかに社内へフィードバックします。

結び 誠実努力・創造と挑戦の精神

私たちは、この原則の実践にあたり、世界の視点から社会・市場の状況を俯瞰し、お客様や社会の期待に誠実に向き合い、強みを伸ばし、弱みを克服するための努力を怠らず、新しい価値の創造に挑戦し続けます。

KEYWORD

「誠実努力」・「創造と挑戦」

「誠実努力」・「創造と挑戦」の精神は、私たちが創業より大切にしてきた価値観です。

私たちは、企業行動原則に基づき行動することで、これらの価値観を守り、継承していく必要があります。

私たちは、常に視野を広げ、社会やお客様の期待と誠実に向き合うことが必要であるとともに、社会の変化やお客様のニーズの変化に応じて、私たちも変わらなければならないと認識しています。

私たちは、世界の視点から社会、市場や競合の状況を俯瞰し、自分たちが期待されていることを客観的に捉え、誠実に向き合ったうえで、目標設定・施策展開を行います。また、自分たちの強みを伸ばし、弱みを克服するための努力・自己研鑽を怠らず、お客様価値を創造する独創的な取り組みに挑戦し続けます。

エプソングローバル社員行動規範

2019 年 4 月：制定

2021 年 4 月：一部改定

2022 年 11 月：一部改定

2024 年 4 月：一部改定

2025 年 4 月：一部改定

セイコーエプソン株式会社